

課題名	フィガロン散布が宮内イヨカンに及ぼす影響						
成果の要約	宮内イヨカンの貯蔵果については、フィガロン散布による着色促進並びに増糖効果は認められなかった。						
成績概要	<p>フィガロン散布による宮内イヨカンの着色促進と熟期促進効果を検討した。</p> <p>(1) 着色については収穫時並びに貯蔵後ともフィガロン散布に促進効果は認められなかった。</p> <p>(2) 品質については収穫時にはフィガロン散布区の糖度が高く、酸含量が低かったが貯蔵後には差はなく、酸含量はむしろ散布区のほうが高かった。</p> <p>第1表 果皮の着色 (昭和57年12月21日)</p>						
	処 理	着色指数	カラーチャート		色 調		
			着色良好部	着色不良部	L	a	b
	66日目+87日目	82.6	7.8	5.0	62.9	18.6	38.3
	87日目+115日目	82.4	8.0	5.4	62.7	19.4	38.1
	無 散 布	80.6	8.1	5.6	62.2	18.9	37.6
有 意 性	処 理	NS	NS	NS	NS	NS	*
	散布：無散布	NS	NS	NS	*	NS	*
	散 布 内	NS	NS	NS	NS	NS	NS

第2表 果実の品質

(昭和57年12月21日~22日)

処 理	粗皮指数	1果平均重	果皮歩合	糖 度	酸 含 量
66日目+ 87日目	69.7	294 <sup>g</sup>	31.5 <sup>%</sup>	10.6	1.63 <sup>g/100ml</sup>
87日目+115日目	74.3	304	32.4	10.4	1.61
無 散 布	74.7	300	31.9	10.2	1.65
有 処 理	NS	NS	NS	**	**
意 散布:無散布	NS	NS	NS	**	*
性 散 布 内	NS	NS	NS	*	**

第3表 貯蔵後の果実着色

(昭和58年2月15日)

処 理	着色指数	カラーチャート		色 調		
		着色良好部	着色不良部	L	a	b
66日目+ 87日目	98.0	9.6	8.7	56.7	28.6	34.0
87日目+115日目	98.0	9.7	9.0	56.1	29.6	33.6
無 散 布	97.0	9.5	9.0	55.8	29.4	33.4
有 処 理	NS	NS	NS	*	NS	NS
意 散布:無散布	NS	NS	NS	*	NS	NS
性 散 布 内	NS	NS	*	NS	*	NS

第4表 貯蔵後の果実品質

(昭和58年2月15日~17日)

処 理	1果平均重	減 量	虎斑類似症 発生指数	果皮歩合	糖 度	酸 含 量
66日目+ 87日目	260 <sup>g</sup>	13.4 <sup>%</sup>	37.3	31.5 <sup>%</sup>	11.5	1.31 <sup>g/100ml</sup>
87日目+115日目	264	13.2	40.7	31.9	11.6	1.28
無 散 布	257	14.9	33.3	31.7	11.3	1.19
有 処 理	NS	*	NS	NS	NS	**
意 散布:無散布	NS	**	NS	NS	NS	**
性 散 布 内	NS	NS	NS	NS	NS	NS

成

績

概

要

そ  
の  
他

昭和57年度長崎県果樹試験場成績